

標茶町議会第2回定例会

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
11番	鴻池智子	1. 災害備蓄品の有効利用について	<ul style="list-style-type: none"> 今度の新型コロナウイルスの感染拡大により、生活が困窮されている人達への支援につなげるため、国をはじめ、各自治体によって様々な政策がうち出されています。その一つとして、災害備蓄品の無償配布を進めていることが報道されています。我が町でも経済的な家庭環境等の理由により、女性の生理用品の購入が難しいとの話を聞く機会があり、実際に困っている人がいる事がわかりました。そこで、町で管理している備蓄品のうち更新予定があり、使用期限などが近づいた生理用品を一人親家庭の中に女の子がいる世帯を対象に無償配布したり、小・中・高校の保健室に置く等の有効利用が可能か伺います。 	町長	
		2. 女性の地位向上の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> 国連がかかげているSDGsの目標の一つに、ジェンダー平等がありますが、国際的に見ても日本は遅れているといわれています。2003年に政府は「2020年までに指導的地位の女性比率を30%に」と目標をかかげていましたが達成困難となり、昨年には「2020年代の可能な限り早期に30%程度」と目標を先送りしました。そこで、我が町においての女性の地位向上の実状を伺います。また、標茶町の役場内において、女性の指導的地位についている人は何名中何名で、その比率は何%になっているかを伺う。 	町長	
1番	渡邊定之	1. 雪どけ時、大雨等により、下流施設等の水害、環境汚染を防ぐ手立てを	<ul style="list-style-type: none"> 本町には川が多く春先の雪解け水、降雨により土手などが崩れ河川に流れ込む箇所が見られるが、実態の調査等はしたことがあるか。あれば直近での調査結果を聞く。 たとえば、虹別では下流には、ふ化場、キャンプ場などの施設があり影響が出る可能性があると考えますが、過去の被害があれば聞きたい。また、対策等どのように考えているか。 被害を防ぐには、河川敷地の確保、植林なども考えられるが具体的な対策が取られているか。 草地更新、造成などによる影響もあると思うが実情はどうか。 昨今の異常気象から、想定される被害と対策が検討されるべきではないか。 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
1番	渡邊定之	2. 新型コロナウイルスワクチン接種について町民の苦情と要望に応えるべきではないか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスワクチン接種について、1回目、2回目ともに町民からの苦情が寄せられていると思うが、どのような苦情がどの程度来ているか。 ・ 厚生労働省の「新型コロナウイルスワクチンについてのお知らせ」では、接種を受けるための手続きとして、電話やインターネットで予約をしてくださいとあるが、本町は、これに従って受付業務を行ったのか。また、この方法で大変な混乱が生じたが、これについて今後、今回の教訓を活かして方法を考えるべきではないか。 ・ インターネットの操作が解らない、電話が通じないなどで「もう接種はあきらめる」との声も聞こえるが、この人たちが必要なワクチン接種を受けるように再度、周知、よびかけをしてはどうか。 ・ 厚労省の接種順位を見ると、1、医療従事者、2、高齢者（令和3年度中に65歳に達する方）、3、高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方、4、それ以外の方、となっているが、「高齢者施設等に従事している人や、訪問介護ヘルパー、ケアマネージャー等の優先順位を上げるべきではないか。介護現場では、利用者に接するとき、日々怖い思いをしていると聞いているがどうか。 1人暮らしで仕事の関係上、電話申し込みが困難な人がいる。手立てを講じるべきではないか。 	町長	
12番	後藤勲	1. 町立病院の運営について	<p>これからの町立病院の運営体制をどのように考えているか伺う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、内科医2名、外科医は1週間交代で勤務され、婦人科については月1回、小児科は週1回と聞いている。残念ながらせつかく来ていただいた女医さんは1年で退職され、また、着任された小児科の先生についても突然逝去されてしまった。医師の確保は非常に厳しいと聞いているが今後の体制について伺う。また、以前にも同様の話をしたが、本町には高齢者が多く眼科、整形外科の要望も多いことから医師確保の努力をお願いしたい。 ・ 現在使用されている町立病院の第2駐車場については、雨が降るたびに悪路になることから苦情を聞く機会が非常に多い。舗装にするか、最低でも砂利を敷くなど整備する考えはないか伺う。 ・ コロナ禍において役場庁舎内には、自動の体温計が2台設置されているが、町立病院では体温を確認する場合に本人の自己申告を信じるか、測 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
12番	後藤		っていない人がいる場合には手動で確認している。病院にも役場庁舎内に設置しているような自動体温計を設置してはどうか伺う。		
	勲	2. 狂犬病予防ワクチンはどの程度実施されているのか	<ul style="list-style-type: none"> 犬の所有者は、その犬を取得した場合に生涯1回の登録を行い、毎年1回狂犬病の予防注射を受けることが狂犬病予防法で義務付けられている。現在、町において何匹くらいが接種をしているのか。また、接種をしていない犬の数を把握しているのか。把握をしているのならば、登録をしてもらい接種してもらうための対応をしているのか伺う。 近年、野犬の被害がないと感じているが町内の農家等からの報告等はないか。 	町長	
8番	深見迪	1. 有償のデジタル教科書導入はあり得ない	<ul style="list-style-type: none"> 国はデジタル教科書について2024年度の本格導入に向けて取り組みを急ピッチで進めている。文部科学省は2021年度の「学習者用デジタル教科書普及促進事業」として22億円の膨大な予算を計上している。当面1万5000校で無償配布する予定と聞いているが、デジタル教科書についての情報について聞く。 導入は各教育委員会の判断で決定し、どの程度デジタル教科書を使用するかは「教育委員会の管理のもと、各学校の状況や意向を十分踏まえた活用の仕方」になるとしているが、本町のデジタル教科書の導入について方針を聞く。 文部科学省の検討会議での最終報告では、「デジタル教科書を無償措置の対象とすることは、直ちには困難」とし、義務教育でも保護者の負担になる可能性があるとのべている。そのようなことがあり得るか。義務教育はこれを無償とするという憲法原則からすると有償はあり得ないと考えるがどうか。 デジタル教科書導入についての問題点をどのように考えているか。以前質問した電磁波による影響や、実物を観察したり、手で作業したり、議論したりすることがおそれるおそれになり、知識や能力が身につかないことへの危惧、教師の更なる負担など心配な点はないか。 	教育長	
		2. 新型コロナ支援策について、本町で使える制度はどのようなものがあるか	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ感染対策の影響で生活が以前より困窮してきた住民について、把握している実態等知りうる情報について聞く。 この様な住民に対する生活支援制度はどのようなものがあるか。緊急小口資金、総合支援資金、就学援助など年度途中でも家計が急変した場合、受けることができるか。 事業者への新たな支援策はどのようなものがあるか。また、非常事態宣言が長期化した場合、どのようなことを考えているか。 		

		件 名	質 問 内 容	答 弁 を 求 め る 者	答 弁 内 容
8 番	深 見 迪	3. 本町における「アイヌ施策推進地域計画」は、作成されているか	<ul style="list-style-type: none"> 2019年4月に「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律（以下「アイヌ推進法」という）」が成立した。その中で、市町村は「アイヌ施策推進地域計画」を作成できると規定されている。釧根管内では、釧路市、根室市、釧路町、弟子屈町、白糠町及び標津町が計画を作成し、内閣総理大臣の認定を受けている。いずれも、経済的自立、アイヌ文化の保存・伝承・振興・活用推進計画、アイヌ文化の価値向上、知的財産の保護管理、アイヌ民族の歴史や伝統文化に対する町民の理解を深めることにより、アイヌ民族の誇りが尊重されるまちの実現を目指す等々となっており、事業により多額な予算も国から交付されている。この点について町長の所見を聞く。 本町の歴史も北海道の他町村と同じくアイヌの人たちの歴史、文化遺産、本町の成り立ちなど、アイヌの人たちが築きあげてきた生活や文化と切り離して考えられないが、町長の所見を聞く。 本町も「アイヌ施策推進地域計画」を作成し、積極的にアイヌ文化の保存・伝承・振興、アイヌ文化の価値向上、知的財産の保護管理など本町の財産として取り組むべきではないか。 	町 長	
		4. 生活困窮時に国保税の減免を	<ul style="list-style-type: none"> 北海道は、国保の都道府県単位化の一環として、一部負担金減免制度の標準例を市町村に公表した。しかし、その内容は、通院や保険薬局の薬代などが対象にならないなど問題もある。一般的に国保税は住民の生活を圧迫している。そのため、経済的理由で受診が遅れる事態も想像される。国民健康保険税について、生活が困窮してきた場合国保税の減免をすべきと考えるがどうか。 現在、市町村で、この標準例に基づいて基準の見直し作業が行われていると思うが、基準が引き下げられることはないか。また、新たに減免の基準を増やした項目はないか。 収入は、給与、営業、年金等すべての収入となっている。また、前年度と比較しての収入減が対象となっているが、その内容はどのようなになっているか。 国保法第44条に規定されている一部負担金減免制度は、具体的には市町村が決めることができると考えるが町長の所見はどうか。 厚生労働省は高すぎる国保税（料）に対して2022年度から未就学児の均等割を50%軽減する方針を決めた。これを機会に更なる軽減策を講じる考えはないか。 	町 長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を求める者	答弁内容
8番	深見迪	5. 標茶町観光開発公社の検証報告は（憩の家）は今後活かされるか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報しべちや6月号に掲載された検証報告について聞きたい。2の経営検証で「利用者減少に歯止めがかからなかった」とあるが、今後これを打開できると考えているか町長の所見を聞く。 ・ 3の政策検証で「経営改善に向けたPDCA（計画、実行、評価、改善）サイクルが十分に回っていなかったことは事実として反省すべき点である」とあるが、最初の計画の部分が議会にも町民にも明らかになっていない中で建設が先走っているが、反省になっていないのではないか。また、企業ガバナンスの欠如も破たんの要因と記されているが、これも具体的に示されずに進められていると感じる。計画について町民を交えて見直すべきではないか。 	町長	
2番	類瀬光信	1. やすらぎ園と駒が丘荘の将来像を早急に示すべき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2019年12月、標茶町議会の厚生文教委員会が「やすらぎ園の今後について」調査した結果を報告している。調査によって明らかになった施設の劣化、介護職員の不足による大幅な定員割れについては、現在も事態に進展はなく、町民の老後に関する大きな不安材料となっている。当時、町が描いていたやすらぎ園の将来像は、町立病院内に介護医療院を開設し、寝たきりの状態の約20名を収容することを柱とするものであった。そして、特別養護老人ホームの定員50名、ケアハウスとして主に駒が丘荘入居者20名～30名を収容することで、従来の定員100名に対応したいとしていた。ケアハウス入居者以外は、公営住宅へ住み替えることを前提に、駒が丘荘自体は解体する方向で検討されていた。これらは、本年3月に策定が完了した「第8期介護保険事業計画」と「高齢者保健福祉計画」の中で具体的になるはずであった。しかし、両計画の中にはやすらぎ園の「施設」や「サービス」の改善に関する記述も、駒が丘荘に関する解体計画も一切ないのは何故か。町民の老後に対する不安解消に向け、将来像を早急に示すべきだ。やすらぎ園の施設改修、定員割れの是正、介護職員の確保、駒が丘荘の運営方針を含めた高齢者の施設サービス全般について具体的計画を問う。 	町長	
		2. デジタル弱者への対応を急ぐべき	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本町の新型コロナウイルスワクチンの接種予約については、混乱に次ぐ混乱によって町民の不満が爆発寸前の状態だ。混迷を極めた初回予約終了後、全員協議会で実態と原因、改善策について説明を受けた。2回目以降、専用電話回線の増設、サーバーの増強などによって改善を見込むとのことであった。改善策をとったとしても混乱必至との指摘がある中、2回目の予約が実施されたが予 	町長	

議席	氏名	件名	質問内容	答弁を 求める者	答弁内容
2番	類瀬光信		<p>想通り混乱した。他の自治体では、予約方法を変更するなどの措置もとられたが、本町の場合「デジタル弱者」の存在を過少評価したまま混乱を繰り返したと、町民の批判が止まない。ここまでのワクチン接種の予約、ワクチンの接種の問題点をどう検証しているか。予約を含むワクチン接種は今後どのように進められるのか聞く。</p> <p>また、単にコロナウイルス対策の綻びというだけでなく、行政のデジタル化を推進するとして担当係を新設してしたにも関わらず機能しなかった感があり、今後の行政事務のデジタル化に不安が募る。これまで「熊の出没情報」や「職員募集」などに関連して指摘してきたことが活かされなかったことは残念である。行政事務のデジタル化が一定程度進み自治体の人員に余裕が生じれば、「デジタル弱者」へのサポートが充実するが、そこまでの間のサポートをどのように行うつもりか。本町のインターネット普及に存在感を示してきた「標茶インターネットプロジェクト」に挺入れし、サポート体制を構築する考えはないか。</p>		
6番	鈴木裕美	1. 新型コロナウイルス感染症対策の実施について	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症は国民生活や経済へ深刻な影響を与えている。本来、国の責任で実施すべき事項だが、感染症防止を最優先に町民のいのちとくらしを守る立場から町として以下の事項を徹底し万全の感染症予防対策を講ずるべきと考えるがいかがか。 ① 医療、介護、保育、幼児教育などに従事するエッセンシャルワーカーには希望者に定期的に無料でPCR検査を行うこと ② 感染者が発生した場合には濃厚接触者だけではなく、感染者の周辺をより広く無料で検査をすること ③ エッセンシャルワーカーに対し、慰労金の再支給や対象拡大を国に求めていくこと ④ 雇用やくらしを守るため雇用調整助成金の特別措置の延長、失業手当の拡充、休業支援金の拡充、休業要請に対じた場合の経済支援、持続化給付金、家賃支援給付金の再給付を国に求めていくこと ⑤ 感染症に係るいじめや差別、誹謗中傷を防ぐため措置等を講じているか ⑥ 生活困窮者や学生に対して新たな給付を含め十分な支援を国に求めていくこと 	町長 教育長	